

未来社会を創るのは、目の前の子供。
誇りと自信をもって
自分事となる子供を育てる。

『自分事となる子供を育てる教育・指導をする学校』

- ① **子供のよさを発見・褒める意図的・計画的・継続的・組織的な関わり**
【認める、好感、応援、感動・喜び、尊敬、感謝】
・学校・学年・学級で、自己や友達のよさに気付く年間取組
・教師が率先して子供のよさを褒める
→ 『よいところみつね名人』
・善の姿を言葉にして伝え続け、行動で見られたことを全教職員で共有して褒める

- ② **「わかる・できる・つかう・つくりだす」学習指導**
・『探究開三小メソッド5』による授業推進
→ 思考力・判断力・表現力を育成（めあて提示・ルーブリック設定、自力解決、グループ協議等、振り返り、まとめ）
・学習活動後に振り返りを熟考して文章記述
→ 『ふりかえり名人』
自分のよさ、学びの価値、次への課題の気付き
・生活科・総合的な学習の時間を核とした探究的な学習
→ 生きてはたらく知識・技能を身に付ける
・ICT機器やタブレットPCを活用

- ③ **「所属感・存在感・充実感・自己肯定感、共感力を育てる」生活指導**
・みんなの子供をみんなで育てる指導
・三つの「あ」（あいさつ、あつまり、あるきかた）を重点指導
・月目標を、各学級がルーブリックを設定・実践
・いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けて週1回の生活指導ミーティング等で情報交換、対応策を協議、実行
・縦割り班活動や集団活動など、余白を大切に、自他共に認めえる力が育つ活動実施
→ 学年に応じた役割を考え、果たす加減の教育

- ④ **「楽しく、高まる」体育・健康指導**
・長縄キャンペーン、マラソン旬間の継続実施
・校庭、体育館や屋上を利用した運動遊び奨励
・「保健室クイズ」「献立ひとくちメモ」などで、健康への関心向上
・委員会活動による、子供たちの主体的な取組
・With コロナを意識して、健康安全を守る環境と指導

社会（地域）に開かれた教育課程による学校と社会との連携・協働



学校教育目標（2030年・40年代の社会を見据え）

【基底】**誇りと自信をもって、よりよい社会の創り手となる子供**

- 学びを深める子供
- 思いやりのある子供
- 健康な子供

カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上

- カリキュラム・マネジメントとは
- ①教育の目標実現に向けた教科等横断的組立
 - ②教育の実施状況を評価・改善
 - ③教育に必要な人材やものの確保と改善

『保護者・地域が魅力・活力・信頼を実感する、子供のために協働する学校』

- ② **地域の人的・物的資源を活用した教育活動の企画・交流・評価・改善**
・開校90周年、9月10日に記念式典
鼓笛に関する座談会、第二校歌の作詩・作曲
地域・同窓会・保護者と協働で実施
- ③ **幼稚園・保育園との連携**
・1、2年生活科、6年総合における交流活動
- ④ **学校評価による教育の更新・改善**
・学校教育アンケートの項目を4月に説明
→ 学校の取組を見守っていただく。
・土曜公開授業や学校行事のアンケート実施
→ 教育活動充実

- ① **教育課程を保護者・地域に見える化**
・教育課程の概要（グランドデザイン）を保護者や地域へ説明・共有（保護者会・地域説明会の開催、配布物、学校ホームページ等）
・保護者対象および地域の方対象の学校公開（土曜授業、行事）実施
・各町会の回覧板活用をお願い、学校の取組を学校だより回覧で広報
- ② **地域の人的・物的資源を活用した教育活動の企画・交流・評価・改善**
・生活科や総合的な学習の時間において、地域を活用、交流を図る実践を継続・充実
・保護者・地域の方に、地域を活動の場とした校外学習において、協働をお願い
・地域学校協働活動推進委員会を設置（学校、地域、保護者代表）
→ 地域活動の計画・評価・改善（東京都教育委員会 地域人材・資源活用推進校）
（練馬区教育委員会 地域連携教育実践研究指定校）
・クリーン運動を地域との関わりを深める取組として11月と12月に実施
・6年総合『働くこと体験』を地域商店や公共施設、幼稚園・保育園で実施
→ 社会（地域）の創り手意欲の向上

11月の学校教育アンケート項目

『教職員が力を発揮できる学校』

- ① **教職員が子供にとってよいと思ったことを主体的・創造的に職務実践**
・一人一提案による教育の充実
- ② **優れた実践を教職員一人の「個人芸」から、開三小教職員の「標準装備」に**
・褒める技術の磨き合い
・『思いや願い・課題をもち、探究する学習』に向けた授業技術の向上と、研究成果の公開
（11月11日：生活科・総合の教育 全国大会 授業会場校）
・教員相互の授業参観による授業力アップ
・他校の研究発表会への自主的参加による自己改革
・研究実践を学び、自己改革
・経験、職層に応じた人材育成

『自分事となる子供を育てる教育・指導をする学校』

- ① 子供たちは、自分のよさに気付いている。
- ② 子供たちは、友達のよさに気付いている。
- ③ 子供たちは、自信をもって学習・生活をしようとしている。
- ④ 教師は、子供たちが誇りと自信をもつことができる指導を進めている。
- ⑤ 教師は、わかる・できる学習指導を進めている。
- ⑥ 子供たちは、分かったこと、できたことを使って、自ら学ぼうとしている。
- ⑦ 子供は、生活科や総合的な学習の時間の中で、自ら問いをもち、解決しようとしている。
- ⑧ 子供が書いた『振り返り』から、自分事で学んでいる様子が伝わってくる。

『保護者・地域が魅力・活力・信頼を実感する、子供のために協働する学校』

- ⑨ 学校通信、保護者会、ホームページ等で、学校の方針、子供の成長の様子や学習成果を伝えている。
- ⑩ 子供たちの成長を実感できる教育活動が行われている。
- ⑪ 学校や教職員には、相談しやすい雰囲気がある。
- ⑫ 教室や廊下の学習環境から、子供の学びの姿が分かる。
- ⑬ 地域と協働した教育活動は、子供が地域の担い手となる素地を育てることにつながっている。
- ⑭ 教師は、子供の基本的な規律の定着を目指して指導を進めている。

『教職員が力を発揮できる学校』

- ⑮ 子供たちは、学校に楽しく通っている。
- ⑯ 本校の教育に満足している。